

急接近の訳は…

R3・6・28

少し離れたところから 気になりながらも、
園長先生の様子を伺って見ていることが多かった OOちゃん。
ある日を境に自分から話しかけに行くようになりました。
どんな心境の変化があったのかな？
OOちゃんの心情に 思いを巡らせてみました。

食紅を使ったあそび、和紙や障子紙にスポンジで色をにじませ楽しんだ前日。
この日、最後までクラスに残って遊び込んでいたのは、OOちゃんでした。



出来上がったものは、淡い色合い
お昼寝から起きた子どもたちが、見上げられるように 天井に飾ると
お昼寝明け、口を大きく開け満面の笑顔で 気持ちを表現してくれました。
おやつ後、園長先生がクラスに来てくれたました。
仰向けでクラスに入ってくる様子を笑顔で見ている子どもたち
「いいねえ～」と言ってくれた言葉を、OOちゃんはすぐそばで聞いていました。

その日から、作品を見上げると
「たのしかったよね またやろうね」
と繰り返し言うようになりました。
自分が行った楽しかったことと、
見てもらえた誇らしいような、嬉しい気持ちを
反芻しているかのようでした。

作品を見てもらったことで、作品だけでなく
自分の行ったことや、一緒に見上げている時間までも
全部ひっくるめて
認めてもらったような気持ちになったのでは…
次の日から、OOちゃん曰く
「なかよしになった」二人

本当の気持ちは、【 本人のみぞ知る 】ですが
些細な出来事にも、
それぞれの子どもの心情があると心にとめ、
そこへ寄り添いながら日々を過ごして行きたいと思います。

